



発行：編集委員会
編集：堀江貞雄
責任者：
事務局：砧第2出張所内
☎(482)0343
1990.1 N031

ちとせ 砧才2

わがまち

希望丘団地の 生い立ち

希望丘団地は、烏山川の水田地帯に昭和四七年一月に建築された。この地帯の水田は、昭和二〇年代の後半より、水質の悪さから稲が作られなくなり、田は、子供の草野球や犬の散歩場と化した。

団地の敷地は、公団が三〇年代より買収に入り、約六〇人の地主から点々と買収した。四二年に希望丘土地整理組合が発足し、組合の協力を得て、現在の敷地約五万六千七百㎡を集約換地されたものである。「田」が八〇%、



その他が「畑」と「原野」であった（登記上）。

去る十一月二十三日、大東学園高等学校体育館において、ミニ・コンサートが開催された。



区青少年対策砧第2地区委員会の主催ではじめられたこのコンサートは、今年で六回目を迎え、しっかりと地域に根をおろした感がある。

今回は地域の「大正琴弦志会」の方々の演奏にはじまり、「地域コーナー」等の新しい試みもあり、一段とよやかな会になった。

砧第2地区の五校、「大東学園高等学校」「千歳中学校」「芦花中学校」「希望丘中学校」「船橋中学校」は、毎回、吹奏楽等の生徒の演奏も参加させていただいた。

青少年の心を育み、地域にとけこませたいとの願いがこめられたコンサートであり、回を重ねるにしたがって集う人々も多くなってきた。

ミニコンサートをここまで発展させていただいた主催者の方々のご尽力、ご配慮に心から感謝するのみである。

船橋中学校教頭 酒井恭子

お誘い

明るい選挙を
すすめるつどい



日時 平成二年二月六日(火) 午後5時30分

場所 砧区民会館ホール

内容 ニュースキャスター 畑恵氏を迎えての講演とアトラクション

一人ぐらしのおとしより お楽しみ会



今まで、保健所主催の健康食試食会でしたが、今年から私達福祉部員の手作り食事会となり、はじめの事なので、どうなる事かと心配もしましたが、何回となく打合せをし、十月三十一日「ちらしずし、かぼちゃの煮物、ホーレン草のゴマあえ、キュウリとワカメの酢物、ナメコと豆腐の味噌汁」以上の献立で実施の運びとなりました。なにしろ、ベテラン主婦の集まりなので、皆手際よく分担し、それぞれの持場で一生懸命作りました。

さて、食事の段になると、皆さんからとても好評で、男性の方など、一人になってから何年振か家庭の味をあげた、と感謝され、苦勞がいつべんに吹きとぶ思いでした。今後、お金を出して実施してほしいとの要望もあつたそうです。

食後、保健所の方々の健康面・栄養面のお話、一人ぐらし男性の料理講習会へのおさそい、軽い体操等々、皆さんとても熱心かつ活発に、栄養のバランス、体力維持とか、様々な質疑応答が行われ、あっという間に時がすぎ盛会の中に閉会になりました。最後になりましたが、砧保健所ならびに出張所の方々のご協力を心より感謝いたします。

出席者 四十六名

砧社協老人福祉部会第二地区



一四階と一三階が各一棟、一一階二棟、八階四棟約千八百世帯の高層ビルが完成した。ほとんどが田であったために、その基礎工事は、建物の高さより深く行われたそうだ（このあたりは深さ二〇mから砂利層）。

路線バスが開通し、商店街やスーパーもできて、田園から都会らしい生活環境となった。

現在、当団地の北西部に公団のシルバーハウジングが建設されている。

(N・I)

お詫び 前号「子供まつり」の文中希望丘小学校校長先生のお名前に誤りがありました。お詫び申し上げ訂正いたします。(正) 土田校長 (誤) 古田校長

地域めぐり

八幡山町会 防災訓練実施



十月二十八日、八幡山町会の防災訓練が行われた。十箇所の一時集会所より、地区長さんを先頭に、小さな子供から老人まで、約三百名が参加した。

人形を使った人工呼吸法は幼児を連れた若いお母様には大変な人気だった。消火器を実際に使ったり、てんぷら鍋についた火を濡れたシートで

放水でだいぶ力があることを体験した。

最後に、どこの家にもあるようなふきん掛けが上についた台所に見立てた小屋の中で、油の入った鍋を火のついたコンロにのせ、どうなるかという実験をした。非常に風が強いため油の温度が上がらずなかなか火はつかない。六百の目が緊張してじっと見つめるうちに鍋の中



らかすかに煙が出始め、油が燃えだした。鍋の外から火が入るのではなく、油が燃え発火することを知った。まず、野菜を入れてみた。火は四方へ飛び散り、弱まるが火は消えない。容器ごと入れると火が消えるという今話題のマヨネーズを入れたが、瞬間火が天井まで上り、ふきんも燃え出した。やがて小さくなったが消えない。水をかけると火は床を這い非常に危険だ。やはり濡れたシートで鍋を包み込み、ガス栓を止めるの

のが最良だった。
ふだん自分では出来ないことを訓練では出来る。積極的に参加してさまざまな体験をすることが、「いざ」という時、非常に役立つことと思う。(T・I)

皆様の温かいご協力
ありがとうございました
共同募金
一金 二、三五四、〇三二円
歳末たすけあい
一金 二、六四一、七二七円

謹賀賀新年

編集委員一同頑張りますので、今年も「ちとせ」をよろしくお願ひいたします。



ちとせ 砧才2

千歳村が世田谷区に編入された頃、この辺は畑やたんぼと、雑木林やそれに囲まれた農家が点在する独歩の書に誌された武蔵野の姿そのものであった。だからそこに遊ぶ子供達の遊びも、のびのびとしてスケールも大きかった。遊びは色々あったが、道具の必要な遊びとそれが無くとも出来た遊びがあり、それは時期的に分かれていくようだ。以下その遊びを記してみる。

♂男の子の遊び

*兵隊ゴッコ

村中の子供達が餓鬼大将の号令で集まり、二群に分れて戦争になる。大

昭和十年頃の 子供達の遊び



将は小学校を終った中学二、三年生で、道具は、しの竹等を使ったし、一年生は、きびがらの粗末なもので、軽いからたたかれても痛い程ではなかった。徳富芦花さん宅の書生で三上という男

が悪で、私達は捕虜になった。捕虜を多く捕らえた方が勝ちだった。兵隊ゴッコの戦線は村の隅々に及んだが、隣の村に出なかったのは餓鬼大将が違うので遠慮したものか。

*竹藪の鬼ゴッコ



孟様竹の藪で、竹に登り鬼が追う、各自、竹をたわませて逃げるが、捕まるか枝が折れて落下した人が鬼になる遊び。(倉本 十三)

♀女の子の遊び

春はつみ草の季節、バス通

り(千歳通り)は、用水堀の土手をつくしがした。沢山とってはきんぴらに、田圃ではせり摘み、野原ですみれ摘み、

西経堂団地が一面の蓮華畑、花に埋もれて両手いっぱい摘んだ。魚しゃくいにもよく行った。ざるで田圃のあぜ道から泥ごとすくい、ぱっと伏せるとどじょうや小さい海老がはねていた。森繁邸の下に

烏山川があつて釣りをするとハヤやタナゴも釣れた。
夏は、家政学院グラウンド(今はマンション群)で、銀ヤンマが飛び交い、とんぼ釣りやバッタ取り、奥の椋林では樹液にかぶと虫、くわがたが群れ、蝶の大ムラサキ、ゴマダラ蝶等々が飛び交い、蟬は木々にうるさく鳴き、どれも沢山とれた。

秋には、どんぐりを拾ってこまを作って遊び、椎の実や銀杏もよく拾った。

赤とんぼは秋空高く飛び、子供達は、とんぼ取りに熱中した。

冬は、家政学院のグラウンドでたこあ

げが盛んで、風のある日には空高くうなりをつけて角風が、じっと上がっていた。雪が積もると一面の銀世界、雪合戦に雪だるま作りと、子供達は一年中遊びに熱中していた。(黒田洋子)

